



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月10日

上場会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3961 URL http://www.silveregg.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) トーマス・アクイナス・フォーリー
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 梅森 正芳 TEL 06 (6386) 1931
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	632	20.8	120	51.5	120	51.5	77	54.6
28年12月期第3四半期	523	—	79	—	79	—	49	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	26.99	26.32
28年12月期第3四半期	20.66	19.63

- (注) 1. 平成27年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を開示していないため、平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成28年6月16日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
 3. 当社株式は、平成28年9月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、平成28年12月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」は新規上場日から第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	870	775	89.0	269.38
28年12月期	774	664	85.8	236.41

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 775百万円 28年12月期 664百万円

(注) 当社は、平成28年6月16日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	881	19.3	160	16.4	160	23.0	93	14.4	32.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	2,878,400株	28年12月期	2,810,900株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	42株	28年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	2,861,988株	28年12月期3Q	2,418,739株

(注) 1. 当社は、平成28年6月16日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き個人消費や設備投資に緩やかな持ち直しの動きがみられ、企業収益の改善も徐々に進んでおり、先行きについても雇用情勢の改善が続くなかで、緩やかな回復基調で推移していくことが期待されております。また、海外経済については近隣諸国における情勢緊迫化など、地政学的リスクは存在する一方で、アメリカや中国を始めとするアジア新興国等においては緩やかな回復を続けております。

当社の事業が関連するBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、平成26年には12.8兆円（前年比14.6%増）、平成27年には13.8兆円（前年比7.6%増）となり、平成28年の日本国内のBtoC-EC市場規模は、15.1兆円（前年比9.9%増）まで拡大しており、引き続き電子商取引のさらなる拡大が見込まれております（経済産業省調べ）。

このような状況の中、当社は「AI（人工知能）クラウド型サービスで、あらゆるタッチポイントにおけるリアルタイム・パーソナライゼーションの実現」をミッションに掲げ、ECサイト運営企業、ウェブサービス企業向けに、AI（人工知能）を用いたマーケティング支援ツールである「リアルタイム・レコメンド・サービス」を提供してまいりました。

EC市場の拡大を受け、アパレル、人材、不動産等の既存業界だけではなく、当社のサービスをご利用いただける新規顧客及び業界の開拓に注力するとともに、展示会やテレマーケティングによるリードジェネレーション等、積極的な営業活動を展開しました。また、メール開封時にレコメンド結果をリアルタイムに抽出し、メール上に画像を表示させるリアルタイム・レコメンドメールサービス「レコガゾウ」（オプションサービス）の特許を取得し、より一層弊社サービスの競争優位性を強固なものとしたしました。また、顧客満足度の向上に向けて、ポータルサイトの開発並びに機能強化を図ってまいりました。

今後も継続的に人材・不動産・旅行・メディアなど各業界特有のニーズをサポートし、拡大するEC市場のニーズに 대응していくため、当期よりリリースしました次世代のAI（人工知能）マーケティング・プラットフォーム

「Aigent（アイジェント）7」をはじめ、高い利便性と精度を持った最新AIマーケティング・テクノロジーサービスを提供すべく研究開発を継続し、あらゆるチャンネルとデバイス上での顧客サイトのさらなる付加価値の向上を実現してまいります。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業収益632,769千円（前年同期比20.8%増）、営業利益120,878千円（同51.5%増）、経常利益120,954千円（同51.5%増）、四半期純利益77,243千円（同54.6%増）となりました。

なお、当社は、レコメンドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ96,511千円増加し、870,990千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加84,287千円、投資その他の資産に含まれる差入保証金の増加13,197千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ14,347千円減少し、95,619千円となりました。主な要因は、未払金の増加13,834千円、未払法人税等の減少22,376千円、流動負債「その他」に含まれる未払費用の減少2,712千円、未払消費税等の減少2,945千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ110,858千円増加し、775,370千円となりました。主な要因は、資本金の増加16,875千円、資本準備金の増加16,875千円、四半期純利益77,243千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	605,850	690,138
売掛金	137,106	134,155
その他	11,829	14,660
貸倒引当金	△47	△46
流動資産合計	754,738	838,907
固定資産		
有形固定資産	10,497	9,103
無形固定資産	980	802
投資その他の資産	8,261	22,177
固定資産合計	19,740	32,082
資産合計	774,478	870,990
負債の部		
流動負債		
未払金	26,056	39,891
未払法人税等	43,893	21,517
その他	40,017	34,211
流動負債合計	109,967	95,619
負債合計	109,967	95,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	242,772	259,647
資本剰余金	227,535	244,410
利益剰余金	194,204	271,447
自己株式	—	△134
株主資本合計	664,511	775,370
純資産合計	664,511	775,370
負債純資産合計	774,478	870,990

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自平成29年1月1日 至平成29年9月30日）
営業収益	523,824	632,769
営業費用	444,011	511,891
営業利益	79,812	120,878
営業外収益		
受取利息	21	5
受取手数料	—	65
その他	—	5
営業外収益合計	21	76
経常利益	79,834	120,954
特別損失		
固定資産売却損	—	19
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	19
税引前四半期純利益	79,834	120,935
法人税、住民税及び事業税	30,533	44,497
法人税等調整額	△662	△805
法人税等合計	29,870	43,692
四半期純利益	49,963	77,243

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使に伴い、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ16,875千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が259,647千円、資本剰余金が244,410千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

当社は、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。